

南海トラフ地震の情報に伴う学校の対応について

8月8日（木）16時43分に起きた宮崎県日向灘を震源地とする地震を受け、気象庁より17時00分に「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」が発表され、その後、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表されました。

もし南海トラフ地震が発生すれば、非常に大きな被害が予想されており、地震に遭遇したとき、迅速かつ適切な行動をとることが重要です。『南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が継続した場合』について再度改訂しましたので、お知らせいたします。

気象庁は、南海トラフ地震発生が危ぶまれる時または発生した時、その危険度に応じ、地震臨時情報を次の3つの段階で発表します。

南海トラフ地震臨時情報		
調査中	巨大地震警戒	巨大地震注意
・日ごろから地震に対する備えを再確認する。 ・情報収集に努める。 ・巨大地震警戒等、次の情報発表に備えた準備を進める。	・情報収集に努める。 ・学校は1週間の臨時休業を基本とする。 ・学校災害対策本部を設置する。 ・避難者等の受け入れを行う。	・情報収集に努める。 ・注意対応をとりながら学校活動を継続するが、発生した地震による被害や地震関連情報等の状況に応じて、下校や休校の措置を講じる。 ・避難者等の受け入れに備えた準備等を行う。
「調査終了」が発表されたら、平常の学校活動を継続する。		

上記に基づいて、学校における南海トラフ地震対策として、授業や各種活動の打ち切りや下校・休校措置は、下表のように「南海トラフ地震臨時情報」の巨大地震警戒・巨大地震注意が発表された時点で行いますので、ご理解とご協力をお願い致します。

生徒の動き	巨大地震警戒が発表されている時	巨大地震注意が発表され、継続している時
在校中	情報収集し、状況に応じて直ちに授業を中止し、速やかに安全に下校させる。	情報収集し、学習活動等を継続しながら対応できるよう準備する。場合によって下校時刻を変更するなど、登下校を含めより安全な対策を講じる。
登下校中	原則、自宅・学校の近い方を到着地点として移動し、安全を確保する。ただし、危険な状況がある場合は、距離に関わらず安全である場所へ避難する。	
在宅中	原則、自宅待機とし、各地区の避難体制に従って行動できるよう準備する。	